



渡邊霞亭

WATANABE Katei

代表作

- 『渡辺崋山』(1889 年)
- 『後藤又兵衛』(1890 年)
- 『大石内蔵助』(1908 年)
- 『渦巻』上, 中, 下, 続篇
(1913 - 1914 年)
- 『新渦巻 光子の巻』(1914 年)
- 『勝鬨』上, 中, 下編 (1914 - 1915 年)
- 『白珊瑚』3 版 (1919 年)
- 『貝原益軒』(1935 年)

ほか劇化、映像化多数あり

活動略歴

- 1864 年 本名・渡辺 勝(わたなべまさる)。尾張藩名古屋(愛知県名古屋市)出身。尾張藩士・渡邊源吾の子として生まれる。
- 1881 年 **名古屋好生館に進学、満 16 歳にして岐阜日日新聞社に文芸欄主任として入社。**
- 1886 年 **名古屋の『金城新報』の編集長に就任。**
- 1890 年 大阪朝日新聞に招かれ連載小説を掛け持ち、量産。
- 1908 年 小説『大石内蔵助』が人気となる。
- 1913 - 1914 年 大阪朝日新聞連載の小説『渦巻』上, 中, 下, 続が空前のヒット。後に映画化も。
- 1926 年 大阪にて死去、62 歳没。墓所は**千種区平和公園にある。**

江戸文学の蒐集家でもあり、コレクションが現在東京大学総合図書館にて「霞亭文庫」として保管され、デジタル公開されている。

参考・出展元／『朝日日本歴史人物事典』、朝日新聞出版 1994 年
『日本近代文学外史 近代文学の異端者』
角川書店 1976 年
東京大学総合図書館所蔵 霞亭文庫
<https://iif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/katei/page/home>

WATANABE Katei (1864 – 1926/ Genre ; Historical fiction, Family fiction)

Novelist and newspaper journalist of the Meiji and Taisho periods. He was regarded as a major figure in Osaka literature. He left many novels, mostly historical and family fiction.

ジャンル/小説

Novelist

名古屋市収蔵の資料

／渡辺 霞亭

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Watanabe Katei in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.

←「渦巻」上巻の本体。

錦木清方（1878 - 1972 年）作。
明治・昭和期にかけての浮世
絵師・日本画家・随筆家。近
代日本の美人画家として上村
松園、彼の門下より出た伊東
深水と並び称せられる。



↑口絵が錦木清方、装幀に杉浦非水。モダンな
印象の「渦巻」上中下巻、続「渦巻」、「新渦巻」。



↑「渦巻」下巻巻頭「大阪浪花座の渦巻劇（其
二）」。右下（囲み内）に「貞奴の政子」とある。
浪花座で1903.3「オセロ」を上演、新富座で
1914.3「渦巻」出演替付が存在することから、
川上貞奴本人と考えられる。

上記資料の閲覧を希望される方は、文化芸術推進課または文化のみち二葉館までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。